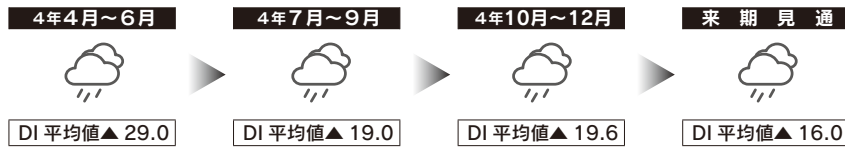


県内中小企業(製造業)景況動向

令和4年10月12月期

全体的に停滞気味ではあるものの、来期は一部業種で回復の兆し

本会調査結果概要



※DI 平均値=(売上高DI+収益性DI)/2

DI 平均値(同期比)については▲19.6となり、前回調査(4年7-9月期)の▲19.0から0.6ポイント下降している。来期見通しにおいては3.6ポイント上昇して▲16.0となっている。

<概況>

回収率：50.6% (253社)

平均従業員数：52.8人

売上高DI (同期比)			収益性DI (同期比)			業況DI (同期比)		
前期	今期	「増加」	前期	今期	「悪化」	前期	今期	「悪化」
▲5.1	▲3.6	+1.5P	▲32.9	▲35.6	▲2.7P	▲16.5	▲19.0	▲2.5P
原材料価格DI (前期比)			販売価格DI (前期比)			資金繰りDI (前期比)		
前期	今期	「上昇」	前期	今期	「下降」	前期	今期	「好転」
68.4	75.2	+6.8P	24.2	21.5	▲2.7P	▲21.5	▲20.9	+0.6P
金融機関の態度DI (前期比)			設備操業率DI (前期比)			設備投資実施率 (前期比)		
前期	今期	「硬化」	前期	今期	「上昇」	前期	今期	「上昇」
▲4.8	▲6.1	▲1.3P	▲9.9	▲6.4	+3.5P	28.8%	32.1%	+3.3P

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲13.4	▲7.7	▲8.8	▲2.8

同期比の売上高DIは10.4、収益性DIは▲27.9で、両方を合せたDI平均値は▲8.8となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは6.0ポイントの上昇で▲2.8となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは12.5、収益性DIは▲34.8となった。

また、雇用人員判断DIは9.3、設備操業率DIは▲2.4、設備投資実施率は46.8%、来期の設備投資計画率は40.5%となった。

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲29.2	▲14.1	▲13.3	▲14.3

同期比の売上高DIは6.7、収益性DIは▲33.3で、両方を合せたDI平均値は▲13.3となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは1.0ポイントの下降で▲14.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲6.9、収益性DIは▲38.1となった。

また、雇用人員判断DIは36.4、設備操業率DIは▲22.8、設備投資実施率は16.7%、来期の設備投資計画率は20.0%となった。

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲32.1	▲55.9	▲66.7	▲53.4
同期比の売上高D Iは▲60.0、収益性D Iは▲73.3で、両方を合せたD I平均値は▲66.7となり「雨」模様が続いている。来期見通しは13.3ポイントの上昇で▲53.4となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲46.7となった。 また、雇用人員判断D Iは13.3、設備操業率D Iは▲20.0、設備投資実施率は6.7%、来期の設備投資計画率は7.1%となった。			

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲11.6	▲9.4	▲20.8	▲16.7
同期比の売上高D Iは▲16.6、収益性D Iは▲25.0で、両方を合せたD I平均値は▲20.8となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは4.1ポイントの上昇で▲16.7となり「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは16.7、収益性D Iは▲16.7となった。 また、雇用人員判断D Iは16.7、設備操業率D Iは0.0、設備投資実施率は36.4%、来期の設備投資計画率は40.0%となった。			

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲56.8	▲46.6	▲32.1	▲38.9
同期比の売上高D Iは▲20.5、収益性D Iは▲43.6で、両方を合せたD I平均値は▲32.1となり「雨」模様が続いている。 来期見通しは6.8ポイントの下降で▲38.9となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲11.6、収益性D Iは▲38.4となった。 また、雇用人員判断D Iは30.7、設備操業率D Iは▲7.7、設備投資実施率は27.3%、来期の設備投資計画率は27.8%となった。			

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲23.7	1.8	▲8.7	2.4
同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲17.4で、両方を合せたD I平均値は▲8.7となり「小雨」模様へ転じている。 来期見通しは11.1ポイントの上昇で2.4となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲13.3、収益性D Iは▲30.4となった。 また、雇用人員判断D Iは34.8、設備操業率D Iは0.0、設備投資実施率は25.9%、来期の設備投資計画率は25.0%となった。			

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲35.5	▲17.8	▲20.0	▲16.6
同期比の売上高D Iは▲3.1、収益性D Iは▲36.8で、両方を合せたD I平均値は▲20.0となり「小雨」模様が続いている。 来期見通しは3.4ポイントの上昇で▲16.6となり「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲4.8、収益性D Iは▲20.4となった。 また、雇用人員判断D Iは14.8、設備操業率D Iは▲7.4、設備投資実施率は37.7%、来期の設備投資計画率は31.0%となった。			

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲3.9	4.6	9.1	27.3
同期比の売上高D Iは54.5、収益性D Iは▲36.4で、両方を合せたD I平均値は9.1となり「曇」模様が続いている。来期見通しは18.2ポイントの大幅上昇で27.3となり「薄日」模様へ転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは36.4、収益性D Iは▲18.2となった。 また、雇用人員判断D Iは9.1、設備操業率D Iは18.2、設備投資実施率は45.5%、来期の設備投資計画率は80.0%となった。			